



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
2019年度学校だよりNo.18
令和2年2月10日

次の学年にむけて



2月に入り、残りの日数が少なくなってきました。6年生の教室ではもうカウントダウンの掲示がされています。

1年のまとめの時期になってきました。学習のまとめとともに、次の学年への準備が始まっています。

1年生は、4月に入ってくる新入生と交流会の準備をしています。もうすっかり先輩です。いろいろなことを親切に教えようとしています。

2年生は、生活科で自分の小さな頃の写真を使ってその成長をまとめています。生活科の学習をするのもあと少しです。3年生からは理科や社会が入ってきます。

3年生は、鼓笛の練習をがんばっています。鍵盤ハーモニカで「校歌」や「鉄腕アトム」を引けるように練習しています。

4年生も鼓笛の練習をがんばっています。それぞれ分担された楽器を教えてもらいながら練習しています。

5年生は、朝のボランティア清掃、清掃班長を引き継ぎました。まだまだ慣れないところはありますが、トライ&エラーを繰り返しながら学んでいます。

6年生は、卒業に向けての活動に取り組んでいます。様々な思いを込めて6年間のしめくりにふさわしい思い出になるようがんばっています。

それぞれの子どもたちの思いやがんばりを認めながらいい学期末を迎えたいと思います。

マスクがありません

新型コロナウイルスの影響で、量販店でもマスクの品切れが目立ちます。学校は集団生活が基本で、隔離することができないため実はマスクは重要です。



給食の際にも使用しますので、できる限り準備していただけたら幸いです。給食は各クラスで食べていますが、本校はオープンスペースの学校なのでどうしても一旦感染症が発生すると、防ぎようがありません。ないものをどう準備するのかと反論があるかと思いますが、感染から自分を守り、他者に感染を広げないためにもご理解の上ご協力をお願いいたします。

また、何か症状がありましたら、早期に休ませることが必要です。子どもたちの様子をよく観察し、対応をお願いします。

親がつくるゲーム依存

ゲームのやり過ぎで日常生活に支障をきたしてしまう「ゲーム依存」に陥る人が増えています。ゲーム歴が長くなれば長くなるほど深刻です。幼児期あるいは学童期からゲームに没頭していると、日常の生活管理ができなくなるとともに、脳への過剰な刺激により理性をつかさどる前頭葉に異常が発生するそうです。そうすると、自己コントロールができなくなり、日常生活の破綻につながっていきます。

スマホを子守代わりに与えていたり、ゲームをするのに制限を与えなかったりして親がその原因をつくっているとも言えます。そうならないように必ずルールが必要です。

機材は、親が買い与えたものです。子どもに貸与しているだけです。一定の条件に満たなければ返させるのは当然の権利です。もちろんパスワードも親が管理すべきです。

使用時間、場所も決めます。それが守れないなら使用は禁止です。課金ももちろん禁止です。金銭は労働の対価です。働かない小学生が課金していいはずがありません。

それ以上に大切なのが、大人自身がスマホやゲームをもう一度見直すということです。説得力のある言葉が言えるように背中を示さなければいけません。

ゲーム依存は、ギャンブルやアルコールの依存よりも深刻です。ギャンブルやアルコール依存は大人になってからですが、ゲーム依存は、子どものうちからなので、脳の機能ができあがる前から依存体質になります。ですので、治療も困難がつきまといまいます。

たかだかゲームと思いがちですが、しっかりと地雷は埋まっています。



スキー学習

あいにくスキー教室はできませんでしたが、2月になって校庭にちよっぴり雪が積もりました。

その雪を利用して、スキー学習をした学年がいくつかありました。1年生は、スキーの着脱の練習を室内ですてからの雪の上というステップをとりました。まだまだ坂を登って滑るのは難しいようで、平地走行から始まりました。まずは、慣れることがスタートです。少しずつ滑ることができるようになると、築山に向かっていきました。何度か滑って雪の感触を楽しんでいました。

今年は例年になく暖冬で、どこのスキー場も苦労しているようです。この雪もいつまで残っているか分かりません。学校でのスキー学習はそろそろ終了です。学年のお便り等に合わせてスキーの持ち帰りもお願いします。